



十条駅西口再開発ビルの1・2階に商業施設

地元商店街への影響は？



北区が示している十条駅西口再開発ビル低層棟のイメージ図

十条まちづくりのの山区議が追及 特別委員会

27日の北区議会十条まちづくり特別委員会で、十条駅西口に建設が予定されている再開発ビル（高層棟40階・低層棟4階）低層棟の検討状況が明らかにになりました。私は、1・2階の商業施設が及ぼす地元商店街への影響について質しました。（のの山けん）

区は、北区の権利

床となる低層棟の3・4階に、十条らしさをキーワードとする公益施設を整備するとともに、十条地域振興室、上十条ふれあい館、上十条図書館を移転する

計画を示しました。

一方、低層棟1・2階には、再開発組合の商業施設が入ることになっていきます。現在の検討状況を尋ねた私の質問に、区は「再開発組合の勉強会では、1階に物販・飲食、2階には3パターンの商業施設案が示されている」と答えました。

地元商店街ともしっかり話をしていく」などと答えました。

補助85号線拡幅計画

地権者の声に 耳を傾けよ

また、十条駅南側の道路を現行18mから30mに拡幅し、いちょう通り商店街の大部分の店舗に立ち退きを迫る補助85号線計画（下図）



「しないしてほしい」との意見が出されました。

これを受け、私は委員会「区は地権者の意見をどこまで把握しているか」と質問。区

は「85号線は都の事業であり、個々の意見は聞いていない」などと無責任な答弁に終始しました。

私は「駅前で大規模な商業施設ができれば、十条銀座商店街をはじめ、地元の商店街に大きな影響が及ぶのでは。既存商店街との共存共栄を図るために、区が再開発組合と商店街の橋渡しをするべきではないか」と質

しました。区は「今後、

区は、住民不在のまちづくりの姿勢を即刻あらためるべきです。



26日に個人質問に立った野口まさと議員は、神谷中サブファミリィで計画が進められている北区初の施設一体型小中一貫校について、



23日の本会議では、ながいともこ議員が代表質問。特別区民税が5年連続増となり、区も「財政対応力が高まった」として

個人質問

小中一貫校、十分な敷地を

野口まさと議員

谷小、神谷公園などの敷地を活用してサブファミリィ3つの学校を統合した小中一貫校

年10月の推進協議会で1190人と250人も増加。計算上では、学級数も想定を9クラ

て、十分な敷地面積が確保できているかを質問しました。

現在の神谷中と神童・生徒数推計が、昨

「可能」と答えましたが、今後、新しい推計に基づく検証が必要です。

ス上回ることになり、このままでは敷地内に十分な施設、校庭が確保できなくなるのではと質問しました。

これに対し、区教育委員会は、「児童・生徒、学級数は標準的規模を上回るものの、整備方針に準じた整備は

代表質問

暮らしを応援する予算に

ながいともこ議員

し応援の内容に切りかえるよう求めました。生活扶助費が引き下げられようとしている

会審議を注視する」などと答えました。新年度から都道府県単位となる国保制度

ながい議員は、日本共産党として予算の組み替え提案を行う考えを明らかにしました。

いる財政状況のもとで、一般会計で初めて1500億円を超えた北区新年度予算を暮らし

生活保護については、国に基準改悪をおこなわないよう求めよと迫りましたが、区は「国

では、保険料を抑制するための一般会計からの繰り入れを継続・拡充するよう求めましたが、区は「繰り入れの解消が望ましい」とし、向こう6年間、保険料の連続値上げの仕組みを容認しました。

予算特別委員会 のの山けん区議が総括質疑

3月6日(火) 午後1時

本庁舎4階・第2委員会室

7日間の日程で開かれる2018年予算特別委員会の初日、日本共産党北区議員団を代表して、のの山けん区議が総括質疑に立ちます。ぜひ傍聴にお越し下さい。

